

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

鹿児島女子短期大学 実施報告書



実施主体 児童教育学科 1年生有志

実施内容 平成25年10月27日の紫苑祭(大学祭)における啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・活動拠点の会場ブースに掲示する資料・看板・ポスターを作成した。
- ・本学教員が専門的見地から児童虐待について講義する機会を設け、学生の「オレンジリボン運動」への理解と協力を促した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・有志学生が主体となり、紫苑祭の来場者にオレンジリボン・リーフレット・しおりを配布した。また、配布する際に「オレンジリボン運動」についての説明を行った。
- ・活動拠点ブースにて児童虐待防止DVDの上映を行い、来場者に児童虐待についての思いや感想をポスターに記入してもらい本学エントランスに掲示した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

紫苑祭会場には、約2000名(本学学生除く)の来場者があった。そのほとんどが地域の方々であった。児童虐待防止についての関心は高く、ポスターには「社会全体で考えなければならない課題」「地域が結束して子どもを守らなければならない」「もっとこのような運動を行って欲しい」などの意見が書き込まれていた。

また、活動に参加した学生からは、「将来、保育者として誰よりも子どもと近い存在になるので、虐待の早期発見・予防に貢献したい」といった意見を多数聞くことができた。

現在でも、学内ではリボンをバッグやジャケットに付けている学生をよく目にする。

小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の養成校として、本学が「学生によるオレンジリボン運動」に参加したことの教育的効果はきわめて大きかった。今後も継続して、地域の中で、児童虐待防止に貢献できる人材を育てたい。

